

横浜市立矢向小学校 令和3年度 体育・健康プラン(案)

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○全教職員が自立とチームワークを基盤としながら、主体的に学校経営に参画し、「チーム矢向」として、チーム力を生かして「活力」「魅力」ある学校づくりを推進します。	
○基本的な学習内容の定着並びに学力の向上に向け、授業改善を通して、授業力の向上を目指します。	
○人権尊重を基盤にした教育活動を通して、「自尊感情」や「思いやりの気持ち」をもてる児童の育成を目指します。	
○家庭・地域・関係機関や公共施設と交流・連携を深め、開かれた学校づくりを推進します。	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
健やかな体		①休み時間を活用した体力を高めるための活動を児童が企画実行できるよう支援し、体力向上並びに生活習慣の向上を図る。 ②学校保健委員会を中心に怪我の予防についての活動を行ったり、養護教諭、栄養技師と連携し、保健・安全・衛生や食育に対する関心を高めたりする。
担当	健康体力 安全部	

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- 令和2年度の体育科基本調査分析では、技能の習得と体育の楽しさが大きく関係していることが分かった。また、器械運動の「鉄棒運動」は、矢向小学校全体として通過率が低い傾向にあることも分かった。
- 保健室の利用状況（傷病の状況）は、怪我で来室する子どもが多い。学校保健委員会等を利用し、安全に対する意識の向上を図っている。
- 新型コロナウイルス感染症対策においては、こまめな手洗い・うがい、マスクの着用の徹底など、各学年、重点的に取り組んでいる。

(2) 体力の概要と要因の分析

矢向小学校全体として器械運動の「跳び箱運動」における通過率が高いことが分かる。今後も、系統的・段階的な指導や学習資料の提示を行っていききたい。また、参考ではあるものの、水遊び・水泳運動においても、低→中→高学年において通過率が上昇傾向にある。来年度以降、水遊びや水泳運動の指導をする際に、どのコース（学習の場）をどれだけスペース的に確保するのか、あるいは、単元の「はじめ」を設定する際、どのような段階・レベルに設定するのかなどといった場面で、参考にしてきたい。

反対に、器械運動の「鉄棒運動」は、矢向小学校全体として通過率が低い傾向にある。筋力の低下やコロナ禍による運動機会の減少など、物理的な原因も考えられるが、低学年で前述した通り、単元づくりや補助を含めた指導の在り方を見直すことで、子どもたちの技能習得につなげることも可能であると考え。体育部を中心に、「固定施設を使った運動遊び」「鉄棒を使った運動遊び」「鉄棒運動」における身に付けたい資質・能力を高めていくため、各学年で再考したい。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《 体育科での取組 》

- 各運動領域において、児童が体を動かす楽しさや心地よさを味わい、様々な基本的な体の動きを身に付けられるよう、運動の特性を明確にとらえ、児童が多様な学習の場や音楽など工夫された空間の中で学習できる場をつくっていく。
- 保健では、各学年の発達段階に応じて、感染症予防について考えたり、実践したりする機会を設ける。また、引き続き、生活習慣を整えることの大切さを認識できるような授業づくりを行う。

《 他教科等での取組 》

- 理科
からだの仕組みや生命、人と環境、自然など生命の尊さを学ぶことで、自己のからだについての理解を深める。
- 家庭科
栄養と食べ物、健康、家庭の役割などの学習を通して、食育との関連を図る。

道徳・特活・総合

- 運動委員会や集会委員会による集会の企画・運営を通して、全校児童が体を動かす機会を増やしたり、様々な運動にふれる場をつくったりする。
- 新体力テストの個人結果を各自記入し、一人一人が自己の運動能力を知り、高めていこうとする意欲の向上を図る。また、結果を積極的に分析・活用し、日々の体育科の授業改善に取り組む。
- 保健委員会を中心とした学校保健委員会などを通して、健康で安全な生活に必要な知識を増やす。
- 各学級に配布される「ぱくぱくだより」を学級ごとに読んだり、掲示したりして、正しい食事のとり方や栄養に関する知識を深められるようにする。また栄養士が教室を回り、食育に関する指導を行うことで、自らの健康について考える時間を増やしていく。

課外活動

- 児童の健康に関する情報を保護者と共有し、生活習慣を整えていくための協力を得ていく。
- 地域の運動会・ソフトボール大会などの存在を発信することで、児童が体を動かす機会を増やせる場や地域の人と関わりながら運動できる場に気付くことができるようにする。

令和3年度 矢向小学校 体力向上1校1実践運動

《 名 称 》 体力向上を目指した、ロングタイムの充実

《 ねらい 》

- ・運動への親しみをもつ。
- ・運動の日常化につながる運動経験の充実を図る。
- ・運動を通して、体力向上を図る。

《 内 容 》

- ・給食終了後の休み時間である「ロングタイム」(12:55~13:30)を活用して、委員会が中心となって、体力を高めるための集会や運動への親しみをもてる機会を企画、実行し、全校児童の体力向上、生活習慣向上を図る。

- 指 標 : 全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書や体育科基本調査等を用いて、本校児童の「運動意識」や「体力」を分析する。
各取組における児童の状況(参加数、様子、変容等)を把握し、改善を図っていく。